

マッサージでできること 30 ～症例を参考に～

【 マッサージの日を楽しみにしてくれている 】

A市のケアマネジャーの方からご依頼を頂いたBさん(70代)は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を患っておられました。頸肩部の疼痛や張り感、重苦しさを感じていたり、上肢・下肢ともに重怠さや動きづらさを感じてきていたため、在宅でマッサージを受け、少しでも楽になりたいとのことでした。

施術当初は、基本的に車椅子での移動ですが、移乗動作や立ち上がり動作もでき、気分転換にご夫婦でドライブへ出掛けたりもされていました。また、少しでも身体機能を低下させないように、週2回の訪問リハビリを受けたり、ご自身でも毎朝500gの鉄アレイでの腕や肩の運動に頑張っておりました。

マッサージ施術については、病気になる前から定期的に受けていてその良さをご存知だったため、ご要望は色々ありました。その時々のお身体の訴え(痛みや怠さ等)に応じて施術の部位や方法を工夫しました。呼吸が苦しいという訴えがあれば呼吸補助筋へのマッサージや胸郭および肩甲骨周囲のストレッチを行ったり、四肢の冷えを訴える際には循環を良くするように

求心性のマッサージを行ったりするなど、状態に合わせて施術に取り組みました。

毎回、臨機応変に取り組んでいたところ、ご夫婦とも非常に喜ばれ、毎回の施術を楽しみにしてくれていると仰って頂けるようになりました。始めは週2回の施術でしたが、現在は週3回をご希望され、施術の度に、色々なご相談を受けるようになりました。

しかしながら、難病の宿命か、徐々に四肢および体幹部の筋力低下が目立ち始め、日常生活動作も困難となり、外出もできなくなっていました。介護認定更新で要介護5となったのを機会に、今後に向けたサービス担当者会議が行われました。

マッサージを担当する我々にもお声掛け頂き、情報の共有と今後について、ご夫婦のご意見・ご要望を伺いました。

今後もお身体の訴えを和らげ、毎回の施術も喜んでもらえるように取り組み、心身ともに癒せるように、引き続き寄り添って参りたいと思います。(こぼり)



花粉症に効果的なツボをご紹介します

いよいよスギ花粉症の季節がやってまいりました。花粉症の対策や治療は様々ですが、ここでは症状を和らげるツボをいくつかご紹介します。

目のかゆみに効くツボ『承泣(しょうきゅう)』

瞳の真下で骨の際にあるツボです。目を閉じた状態で、骨に優しく押し付けるように、気持ち良く感じる範囲で押します。



鼻づまりに効くツボ『迎香(げいこう)』

小鼻の両脇にあるツボです。両手の指で鼻を両脇から挟み込むようにして押します。



目と鼻の両方に効くツボ『印堂(いんどう)』

眉間の真ん中にあるツボです。人差し指をツボの位置にあてて、斜め上に押し上げるようにして少し強めに押します。



こうしたツボ刺激を通じ、多少なりとも症状改善に役立たせて頂ければ幸いです。

(こぼり)

最後までお読み頂き、ありがとうございます。
当会や在宅医療マッサージについて、
ご興味・ご関心をお持ち頂きましたら幸いです。

◆訪問医療マッサージを考える会つば

つば市内での在宅における訪問医療マッサージの現状を少しでも改善させ、利用者やその家族に喜ばれるよう、市内のマッサージ師(鍼灸師も含む)有志で2015年に結成しました。

(2018年3月現在、マッサージ師9名、鍼灸師9名所属)

事務局・発行元：こぼり治療院

☎ 029-869-9979

◆ホームページ随時更新中!

<http://medical-massage-at-home.com>

